

1月24日開催

中央線特急新着席サービス導入に関する 申し入れ 団体交渉を行う！③

8. 特別企画乗車券を見直す理由と根拠を明らかにし、発売時期や使用可能な期間を速やかに関係箇所及びお客さまに周知すること。また、存続の要望が多い特別企画乗車券については存続させること。

(回答) 中央線特急への新着席サービス導入に伴い、従来の輸送体系や料金体系が変更となるため、特別企画乗車券を見直す。なお、お客さまへの必要な周知は行っている。

廃止する商品：「中央線料金回数券」「あずさ回数券」「信州特急料金回数券」

新設する商品：「信州しなの料金回数券」「えきねっとお先にトクだ値」

(組合) ご利用の多い回数券をなぜ廃止するのか。「トクだ値」も、13日前までに予定が組めないとの声がある。

(会社) 様々な回数券よりも、着席サービスやわかりやすい料金設定とした。ご理解を得られるものと認識している。

今後のご利用実態を把握し、判断すること！

9. 下記の新着席サービス導入後の取扱いを明らかにすること。

① E257系で運転する臨時列車について。

→車内改札システムで対応する。

② E353系からE257系へ車種変更した場合について。

→支社社員が手配し、移席対応となる。

③新着席サービスのシステム故障時について。

→資料作成中、訓練にて周知する。

④列車遅延時及び臨時停車した場合について。

→確認中、訓練にて周知する。

⑤輸送障害発生時に長野支社管内で行っている便宜乗車について。

→引き続き実施する。

(回答) 関係箇所と調整のうえ、社員に必要な周知は行っていく。

訓練で教育・周知すること！

10. 調整席及び車内割り当て席を、現行と同数確保すること。

(回答) 関係箇所と調整のうえ、社員に必要な周知は行っていく。

同程度確保することを確認！

11. トンネル区間の電波状況を改善すること。

(回答) 現状で対応されたい。

引き続き要請すること！

12. 房総料金回数券が利用対象外となることから、千葉支社管内において新着席サービス導入のお客さま周知を徹底すること。

(回答) 必要な周知は行っていくと聞いている。

(組合) 券面に案内文を印字すること。

(会社) 可能であれば実施する。

効果的に周知できることを要請すること！

13. 新着席サービス導入に向け、現車訓練を実施すること。

(回答) 必要な訓練については実施していく。

**現車訓練の実施を確認！
(2月12～28日予定)**

つづく！